

○ 委員長報告

2月定例本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和8年2月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、宇和島産業技術専門校の移転整備等についてであります。

このことについて一部の委員から、同校の移転整備に今後どのように取り組んでいくのか。また、移転にあわせた訓練科目の変更等はないのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、産業技術専門校の耐震改修については、これまでに新居浜校、愛媛中央校の工事を完了している。宇和島校については、現在地での改修や移転を視野に幅広く検討を行い、経費負担や県有施設の有効活用など総合的に判断した結果、令和8年度末で閉校予定の県立北宇和高等学校三間分校を活用する方向で、8年度当初予算案に移転改修設計に要する経費を計上している。

また、地域の地場産業の特性に応じて設定している木工、アパレル、介護分野の訓練科目については、専門設備と指導体制を要する直営訓練として、移転後も中長期的な視点で安定的に技能訓練を実施していきたい旨の答弁がありました。

第2点は、若者の県内就職及びUターン就職の促進についてであります。

このことについて一部の委員から、若者の県外流出が続く中、大学生に対する県内就職の促進に加え、高校生に対する取組も進めてはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、就職活動前の大学1・2年生を対象に、早い段階から県内の企業や地域を知ってもらうため、県内企業と連携し、「キャリアチャレンジ for College 事業」を今年度から開始している。

高校生に対しては、県内企業とともに地域の課題解決に取り組む「ソーシャルチャレンジ for High School 事業」を実施する教育委員会と協力・連携するほか、県内全ての高校に協力を求め、毎年、卒業時に生徒と保護者に、ジョブカフェ愛 work の利用登録の呼びかけと県内就職に役立つ情報をダイレクトメ

ールで届けるための希望調査を行い、希望者に県外進学後も情報を届けるなど、今後もあらゆる手段を通じ、県内就職を促進したい旨の答弁がありました。

第3点は、県立病院の経営状況についてであります。

このことについて一部の委員から、病院経営が大変厳しい中、経営改善に向け、業務の効率化等にどう取り組んでいるのか。また、今回の診療報酬改定を受け、どう対応していくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県立病院では、大型医療機器の保守業務の委託について、4病院の一括契約によって経費を削減するなど、スケールメリットを生かした取組を進めているほか、チャットツールや診療記録自動要約AIの導入などDXを推進し、業務の効率化による経費の削減と医療職の負担軽減に取り組んでいる。

また、次期診療報酬改定については、全体で2.22%のプラス改定ではあるものの、近年、物価や賃金が高騰している中で、大幅な経営改善は見込めないと考えており、抜本的な改善に向けて引き続き更なる診療報酬制度の見直しや地方財政措置の拡充を国に強く要望したい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 賃上げ応援LED照明導入支援事業
- ・ 砥部焼産地の維持・振興
- ・ 県立病院の医師・看護師確保
- ・ 電気及び工業用水道の安定供給

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。